

# やまなしい叫び

## 安保法 成立

平和国家として戦後の道を行ってきた日本。その姿を萎えかねない安全保障関連法が十九日未明、成立した。国会周辺には一瞬時に四万人以上が集まり、「憲法を守れ」「違憲法案をなくせ」と抗議した。成立の瞬間、周辺に怒りと悔しさがうつり、集まった人たちは「これからも声を上げ続ける」と誓った。●面参照

### 拍手と歓声 「違憲」消す 参院本会議



「よって両案は可決され、午前二時二十分が、参院本会議場に響いた。最後まで抗議の意思をこぼし、法案可決を拒むる山

「よって両案は可決され、午前二時二十分が、参院本会議場に響いた。最後まで抗議の意思をこぼし、法案可決を拒むる山

示す「憲法違反」の合唱が、数に勝る与党側の拍手と歓声にかき消された。投票は午前二時ごろ始まった。先頭を切って登壇した市征治議員（社民）は「憲法違反の戦争法案反対だ」と大声で叫んで反対を示す青色票を手渡し、喝采

を浴びた。続く野党議員は「絶対廃止まで闘う」と闘いはこれからだ」などと声を張り上げ、青色票を提出した。喪服姿で出席した山本太郎議員（生活）は生半歩でゆっくりと歩を進めた。激しいヤジを浴びせる与党席に向かい「外の声が聞こ

えないなら、政治家を辞めたい」と訴えた。傍聴席からはさまざまな声がかれた。東京都文京区の元教員、松尾光章さん（全）は「議会制民主主義の破壊だ。安倍政権の終わり始まりで、民衆は怒っている」と憤った。横浜市港北区の慶応義塾大一年、田中

謙伍さん（全）は「違憲だが、法整備は必要だ」と話した。国会の外でデモをしている学生グループ「SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動、シールズ）」については「よく勉強をしている」と思っている。立憲主義を掲げる人も入っている（中山高志、井加卓嗣）

### 日本に必要な一歩

与野党の攻防が繰り返された安全保障関連法が成立。国際政治学者の島田洋一（京大）は「日米同盟を今より強化し、他国に対しての抑止力を強めるには重要な法」と、必要性を強調する。

### 立憲主義の危機だ

五十嵐正博（京大）は「憲法を守る立場にある人間が正式な手続きを踏まずに中身を単なる平和主義の危機だ」と訴える。立憲主義の危機だ」と訴える。立憲主義の危機だ」と訴える。立憲主義の危機だ」と訴える。

### 抗議デモ 高校生も

高齢層など幅広い世代が参加。「この日を絶対忘れない」と声をそろえた。連休中には各地でさまざまな抗議行動が予定されており、市民らの反対の意思表示が続きそうだ。

十九日午前一時すぎの国会周辺で、参加者はスマイルフォンで国会中継を見守り、成立が分かると盛り込

に集まった」と話した。京都市の繁華街では、関西の高校生を中心としたグループが企画したデモがあり、参加者が高校生もむかっている。京都市京田辺市の高校二年の男子生徒（全）は「自分たちにも関係する」とたとと自覚を持つべきだ」と話した。